最も美しい
蓬莱伝説

「盗賊団なんてやめて、
これからは正直に生きよう」

アイツがそう言って、
僕たちは正直者になった。

[redacted]

——本当にこれでよかったんだろうか。
刺激的な生活が永遠に続くと思っていた。
でも、みんな変わっていってしまった。
だから、僕は……。

どうやらこの楽園にいると
不思議な能力を得るらしい。
「向こうに素敵な何かがあるみたいだ」

好奇心旺盛のアイツの得た能力は、
きっと千里眼だ。

抜け駆けは許せない。

雨の降るボロボロの神社で
紅と白の二色のピエロが踊っていた。

無意識に僕は祈っていた。

「あなたの求めるものは
《蓬莱の玉の枝》か」

「それとも《蓬莱人の生き肝》か」

僕は迷わず、人間をやめた。
もう正直者に戻る気はない。

この力があれば、誰も
僕の、僕たちの邪魔はできないだろう。
僕は刺激的な毎日を続けることができ、
臆病なアイツは平穏な毎日を続けられる。

8

――間に合わなかった。

もうキミを
独りぼっちにはしない。
ずっと一緒にいよう。

変わろうとした奴らは、
これ以上変われないようにしてやった。
これでもう安心だ。
僕たちは永遠を手に入れたんだ。

は
は
は
は
は
は
は
は
は
は
は

奥付

題名
　最も美しい蓬莱伝説
発行日
　２０２１年０７月１１日
著者
　神依レラ
サークル
　ぎんのしずく
連絡先
　https://yuki.kitune.info/